

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ
臨床研究へのご協力のお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたくないとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

精神疾患における好中球リンパ球比の特徴：
後方視的データ解析

1. 対象となる患者さん

2015年4月～2025年3月の間に当院精神科で診療を受けられた患者さん

2. 研究責任者

奈良県立医科大学	健康管理センター	山室 和彦
万葉クリニック	精神科	浦谷 光裕
奈良県総合医療センター	精神科	後藤 晴栄
ハートランドしぎさん	精神科	岡崎 康輔

3. 研究の目的と意義

本研究の目的は、自閉スペクトラム症（ASD）、注意欠如・多動症（ADHD）、統合失調症、気分障害、不安障害、強迫性障害、適応障害など、さまざまな精神疾患をお持ちの方において、血液検査で得られる「好中球リンパ球比（NLR）」という数値がどのように異なるかを調べることです。

NLR は、体内の炎症の状態を反映する指標であり、近年では、こころの不調や精神症状との関係も注目されています。本研究では、各精神疾患ごとの違いや、複数の病気を併せ持つ場合に NLR がどのように変化するかを比較・検討します。

これにより、精神疾患に伴う炎症の傾向をより詳しく理解し、将来的に診断や治療の参考

となる新たな指標の発見につながる可能性があります。

本研究では、通常の診療で記録された血液検査や診療情報を匿名化して使用します。患者さんに新たな検査や診察を受けていただくことは一切ありません。研究への参加を希望されない場合は、どうぞ遠慮なく、担当医または受付までお申し出ください。

4. 研究の方法

対象の患者さんの診療録（カルテ）および検査データから、診断名、年齢、性別、ならびに血液検査のうち白血球の情報（好中球数、リンパ球数）を含むデータを収集し、「好中球リンパ球比（NLR）」を算出します。

これらの情報をもとに、各精神疾患における NLR の違いを比較・分析します。

5. 使用する情報

診療情報：診断名・年齢・性別・既往歴、服薬歴、血液検査結果

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学 学長 細井 裕司

7. 研究の実施体制

この研究は、他の機関と共同して実施します。実施体制は以下のとおりです。

研究代表者

奈良県立医科大学 健康管理センター 山室 和彦

当院の研究責任者

奈良県立医科大学 健康管理センター 山室 和彦

共同研究機関と研究責任者

万葉クリニック	精神科	浦谷 光裕
奈良県総合医療センター	精神科	後藤 晴栄
ハートランドしぎさん	精神科	岡崎 康輔

8. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2035 年 3 月 31 日

9. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表いたしません。

10. お問い合わせ先

奈良県立医科大学 健康管理センター 山室 和彦

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051（代表）

e-mail：muro@naramed-u.ac.jp